

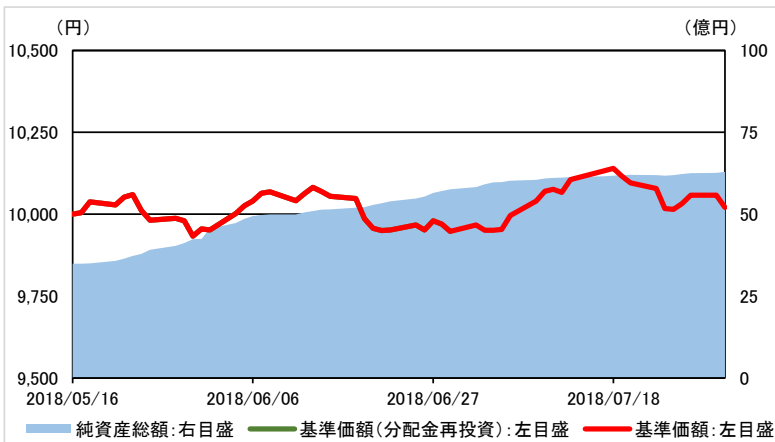


分散名人

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日：2018年5月16日
 作成基準日：2018年7月31日
 決算日：毎年3月20日

基準価額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	10,021 円	+73 円
純資産総額	62.94 億円	+5.33 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	0.73%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
設定来	0.21%

※ 騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 - 円

決算期	2019年3月	2020年3月	2021年3月
分配金	- 円	- 円	- 円

※ 初回決算日が2019年3月20日のため、基準日現在分配実績はありません。

※ 運用状況等によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

運用コメント

【市場動向】

国内債券市場は下落(金利は上昇)しました。米中貿易摩擦への警戒感から月初に上昇した後は、月の半ばまで概ね横ばいでの推移が続きましたが、下旬に入ると、日銀が金融緩和を継続しつつも、これまでの緩和政策の副作用に配慮した措置を講じるとの観測が台頭したことから、売り圧力の強い相場展開となりました。月末に、日銀は長期金利の一定の上昇を容認する方針を示しましたが、債券市場ではこの措置が想定範囲内の受け止めが多く、買い戻しの動きが見られました。

海外債券市場は上昇(金利は低下)しました。先進国債券市場は、米国の通商政策をにらみながら、月半ばまでは底堅く推移しましたが、下旬には米国と欧州との間の貿易摩擦に対する警戒感が後退したことや、日銀による金融政策変更の思惑が広がったことを受け、月末に向けて売り圧力の強い相場展開となりました。一方、新興国債券市場は、月初に小幅ながら上昇し、その後は月末に向けて横ばいでの推移となりました。高金利海外債券市場では、南アフリカやインドネシアなどの市場が好調でした。

国内株式市場は上昇しました。前半は米国で対中関税が発動されると、一旦悪材料出尽くしとの見方が広がり、買い戻しの動きから、日経平均は22,000円台後半まで上昇しました。その後、米国市場が堅調に推移したことや円安の進行がみられましたが中国株安や人民元安などが警戒されたことで上値の重い展開となりました。下旬は日銀の金融政策柔軟化の報道を受けて、長期金利が上昇したことから銀行株が上昇しました。

グローバル株式市場は上昇しました。米国市場は、堅調な米国景気を背景に上昇傾向で推移しましたが、月末近くでは、一部のハイテク株式が下落した影響もあり弱含みました。欧州市場は、企業業績に対する期待を背景に、月を通して全般的に好調な推移となりました。

国内リート市場は、前月末比で小動きとなりました。上旬から中旬にかけては、都心部のオフィス平均空室率の低下や平均賃料の上昇を示す経済指標が発表され不動産市況の好調が示唆されたことや、国内株式市場が上昇したことなどを背景に、国内リート市場は上昇しました。下旬は、日銀が金融政策決定会合で、金融緩和の副作用を軽減する対応を行うとの見方が強まったことなどを受けて、国内長期金利が上昇したことがリート価格の重しとなり、国内リート市場は下落しました。

グローバルリート市場は上昇しました。北米リート市場は、月初に上昇した後、米国長期金利の上昇などを受けて弱含みに推移しましたが、月末には日銀の金融政策変更を背景とした長期金利の動向をにらみ、大幅に上昇しました。豪州リート市場は、月の前半は上昇しましたが、その後、月末にかけて豪州長期金利が上昇傾向を示したことなどを背景に弱含みました。

金価格は下落しました。月初は堅調な値動きを示しましたが、その後は米国金融当局による利上げ継続の方針を背景に、金市場への資金流入が細るとの見方が広がり、価格は月末に向けて下落傾向で推移しました。

【運用実績】

国内債券、国内リート、金がマイナスに影響したものの、その他の資産がプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は月間で0.73%上昇しました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

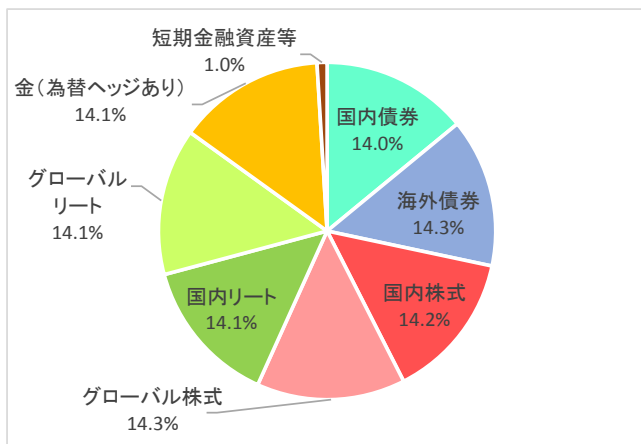


分散名人

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日
 作成基準日 : 2018年7月31日
 決算日 : 毎年3月20日

資産配分状況(基準日時点)



投資対象資産	配分比率	基本構成比率
国内債券	14.0%	14.3%
海外債券	14.3%	14.3%
国内株式	14.2%	14.3%
グローバル株式	14.3%	14.3%
国内リート	14.1%	14.3%
グローバルリート	14.1%	14.3%
金(為替ヘッジあり)	14.1%	14.3%
短期金融資産等	1.0%	-

※ 対純資産総額比です。また、数値を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがあります。
 ※ 追加設定や解約への売買対応により、短期金融資産等の比率が一時的にマイナスになることがあります。

各資産の寄与額(概算)

前月末基準価額		9,948 円	
当月お支払いした分配金		-	
要 因	国内債券	日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)	- 19 円
	海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	37 円
	国内株式	日本株好配当マザーファンド	28 円
	グローバル株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	60 円
	国内リート	Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)	- 6 円
	グローバルリート	グローバル・リアルエステート・ファンド(適格機関投資家向け)	19 円
	金(為替ヘッジあり)	FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)	- 35 円
	その他		- 11 円
当月末基準価額		10,021 円	

※ 寄与額は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

通貨別構成比率上位10通貨

通貨名	比率
日本円	44.0%
米国ドル	33.3%
オーストラリアドル	3.5%
ユーロ	3.2%
ロシアルーブル	2.5%
韓国ウォン	2.4%
メキシコペソ	2.0%
英国ポンド	2.0%
インドネシアルピア	1.6%
スイスフラン	1.3%

※ 主要投資対象ファンドの組入比率や各ファンドの委託会社等からの情報をもとに計算した概算値です。金における為替ヘッジは考慮していません。
 ※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

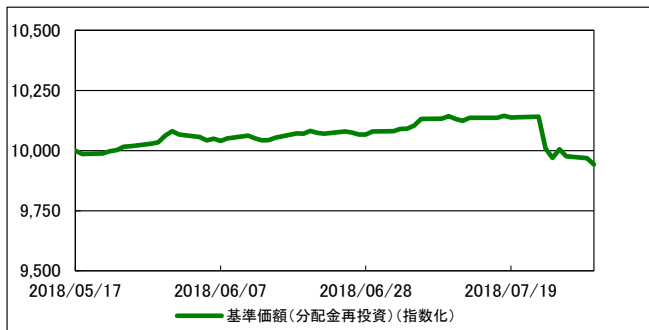
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

期間	騰落率
1ヶ月	-1.36%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	-0.58%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。

※ 上記グラフは、「日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 以下の情報は主要投資対象である「日本超長期国債マザーファンド」について掲載しています。

特性値

平均残存年数	14.67年
平均最終利回り	0.32%

※ 組入債券部分についての数値です。

※ 平均最終利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

残存年数別構成比

残存年数	比率
0～5年	0.00%
5～10年	19.24%
10～15年	0.00%
15～20年	36.01%
20～25年	0.00%
25年以上	18.82%

※ 対純資産総額比です。

債券種類別構成比

種別	比率
国債	74.06%
その他債券	0.00%

※ 対純資産総額比です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	比率	残存年数
1	第351回利付国債(10年)	19.24%	9.90年
2	第8回利付国債(40年)	6.57%	36.66年
3	第161回利付国債(20年)	6.29%	18.90年
4	第162回利付国債(20年)	6.28%	19.15年
5	第163回利付国債(20年)	6.27%	19.40年
6	第160回利付国債(20年)	4.81%	18.65年
7	第159回利付国債(20年)	4.74%	18.40年
8	第158回利付国債(20年)	4.66%	18.15年
9	第58回利付国債(30年)	4.27%	29.66年
10	第54回利付国債(30年)	3.34%	28.65年

※ 対純資産総額比です。

※ 「日本超長期国債ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

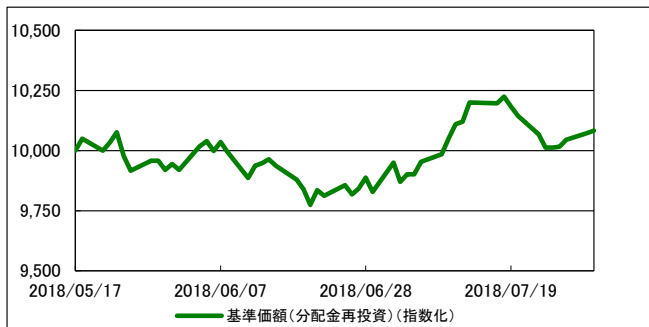
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

高利回りソブリン債券インデックスファンドの資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	2.60%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	0.83%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「高利回りソブリン債券インデックスファンド」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

特性値

平均残存年数	8.39年
平均格付	A+
平均最終利回り	4.97%

※ 組入債券部分についての数値です。

※ 平均最終利回りはファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

※ 格付はMoody's、S&P、Fitchの順に優先して適用しています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

組入上位5通貨

	通貨名	比率
1	米国ドル	19.58%
2	ロシアルーブル	17.61%
3	韓国ウォン	16.92%
4	オーストラリアドル	15.59%
5	メキシコペソ	14.21%

※ 対純資産総額比です。

残存年数別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.00%
1～3年	23.35%
3～7年	32.38%
7～10年	18.33%
10年以上	24.77%

※ 対純資産総額比です。

※ 「高利回りソブリン債券インデックスファンドの資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

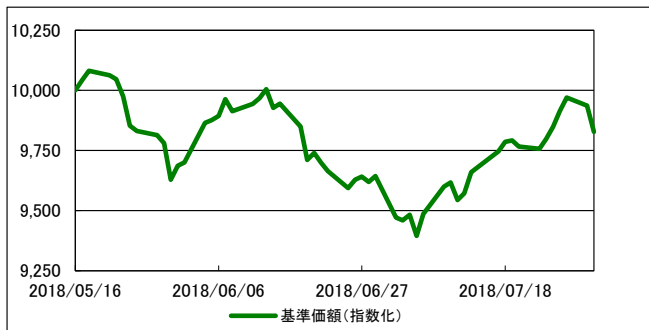
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

日本株好配当マザーファンドの資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	1.92%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	-1.72%

※ 上記グラフは、「日本株好配当マザーファンド」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

株式 組入上位10業種

	業種	比率
1	電気機器	10.1%
2	情報・通信業	9.9%
3	銀行業	9.3%
4	輸送用機器	8.0%
5	化学	7.4%
6	卸売業	7.3%
7	医薬品	4.6%
8	サービス業	4.4%
9	食料品	4.2%
10	陸運業	4.2%

ポートフォリオ指標

組入銘柄数	122
平均予想配当利回り	2.7%

※ 組入銘柄の予想配当利回りを加重平均してちばぎんアセットマネジメントが算出したものです。本利回りは当ファンドの運用利回り等を示すものではありません。

※ 比率は対純資産総額比です。

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率	予想配当利回り
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.3%	3.0%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.7%	2.9%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.7%	3.8%
4	日本電信電話	情報・通信業	2.5%	3.3%
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.1%	3.9%
6	三菱商事	卸売業	2.0%	3.7%
7	KDDI	情報・通信業	1.7%	3.2%
8	村田製作所	電気機器	1.6%	1.4%
9	本田技研工業	輸送用機器	1.5%	3.2%
10	NTTドコモ	情報・通信業	1.4%	3.8%

※ 比率は対純資産総額比です。

※ 予想配当利回りは、基準日時点のデータに基づきちばぎんアセットマネジメントが算出したものです。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

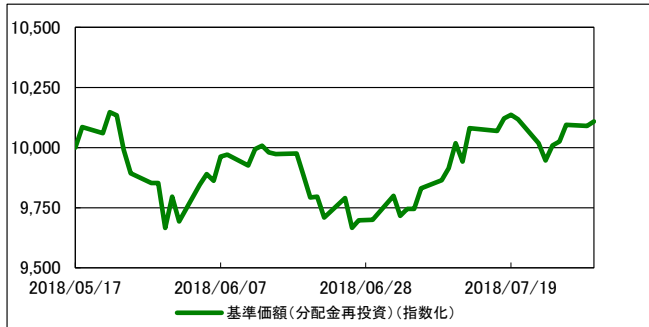
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

グローバル・ハインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラスの資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	4.21%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	1.08%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「グローバル・ハインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

組入上位5通貨

	通貨名	比率
1	米国ドル	48.59%
2	ユーロ	15.52%
3	スイスフラン	8.99%
4	英国ポンド	8.51%
5	カナダドル	6.15%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5カ国

	国名	比率
1	米国	49.02%
2	スイス	9.09%
3	英国	8.62%
4	カナダ	6.23%
5	ドイツ	4.69%

※ 対組入株式時価総額比です。

組入上位5業種

	業種名	比率
1	生活必需品	14.94%
2	ヘルスケア	14.82%
3	金融	13.00%
4	電気通信・サービス	11.67%
5	一般消費財・サービス	10.30%

※ 対組入株式時価総額比です。

特性値

株式配当利回り	4.06%
---------	-------

※ 組入株式部分についての数値です。

※ 株式配当利回りは、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種名	比率
1	Verizon Communications Inc.	米国	電気通信・サービス	5.05%
2	Procter & Gamble Company	米国	生活必需品	4.61%
3	Roche Holding Ltd Genusssch.	スイス	ヘルスケア	4.11%
4	Novartis AG	スイス	ヘルスケア	3.53%
5	Cisco Systems, Inc.	米国	情報技術	3.41%
6	Coca-Cola Company	米国	生活必需品	3.34%
7	Exxon Mobil Corporation	米国	エネルギー	3.30%
8	International Business Machines Corporation	米国	情報技術	3.11%
9	Altria Group Inc	米国	生活必需品	2.59%
10	Sanofi	フランス	ヘルスケア	2.33%

※ 対組入株式時価総額比です。

※ 「グローバル・ハインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラスの資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

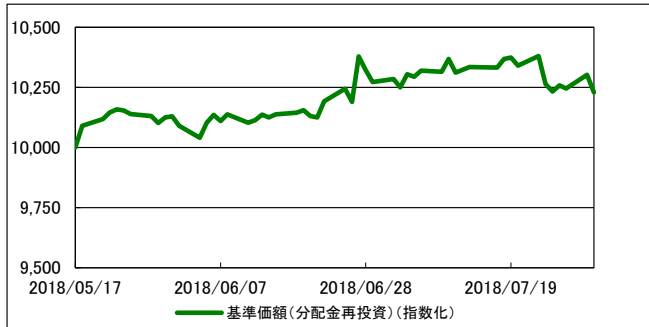
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	-0.42%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	2.29%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのものとして計算しています。

※ 上記グラフは、「Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのものとして計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

セクター別構成比

セクター名	比率
分散型	28.95%
オフィス(ビル等)	26.18%
産業施設(工場等)	13.76%
住宅(マンション等)	11.11%
小売(商業施設等)	9.37%
ホテル	7.27%

※ 主要投資対象である「Jリート・アクティブマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想分配金利回り	4.15%
----------	-------

※ 主要投資対象である「Jリート・アクティブマザーファンド」について掲載しています。

※ 信託報酬等を考慮していません。

※ 組入不動産投信部分についての数値です。

※ 予想分配金利回りは、各種情報を基に組入銘柄の予想当利回りを加重平均して算出した値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	セクター名	比率
1	日本ビルファンド投資法人 投資証券	日本	オフィス(ビル等)	6.71%
2	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	日本	オフィス(ビル等)	6.28%
3	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	日本	分散型	5.89%
4	大和ハウスリート投資法人 投資証券	日本	分散型	4.71%
5	日本リートファンド投資法人 投資証券	日本	小売(商業施設等)	4.67%
6	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	日本	分散型	4.41%
7	オリックス不動産投資法人 投資証券	日本	オフィス(ビル等)	4.20%
8	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	日本	住宅(マンション等)	3.61%
9	インヴァンシブル投資法人 投資証券	日本	ホテル	3.49%
10	ヒューリックリート投資法人 投資証券	日本	分散型	3.31%

※ 主要投資対象である「Jリート・アクティブマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

※ 「Jリート・アクティブ・ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

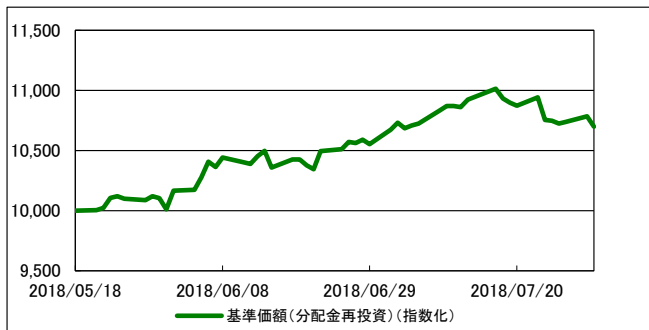
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

グローバル・リアルエステート・ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

期間	騰落率
1ヶ月	1.38%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	6.99%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※ 上記グラフは、「グローバル・リアルエステート・ファンド(適格機関投資家向け)」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

組入上位5通貨

順位	通貨名	比率
1	米国ドル	66.97%
2	日本円	7.29%
3	オーストラリアドル	7.09%
4	ユーロ	7.04%
5	英国ポンド	5.49%

※ 主要投資対象である「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

組入上位5カ国

順位	国名	比率
1	米国	66.97%
2	日本	7.29%
3	オーストラリア	7.09%
4	英国	5.49%
5	フランス	4.36%

※ 主要投資対象である「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

セクター別構成比

セクター名	比率
小売(商業施設等)	25.64%
オフィス(ビル等)	17.90%
住宅(マンション等)	14.93%
特化型	13.91%
分散型	9.22%
ヘルスケア	6.80%

※ 主要投資対象である「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想分配金利回り	4.10%
----------	-------

※ 主要投資対象である「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

※ 信託報酬等を考慮していません。

※ 組入不動産投信部分についての数値です。

※ 予想分配金利回りは、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	セクター名	比率
1	SIMON PROPERTY GROUP INC	米国	小売(商業施設等)	7.19%
2	EQUITY RESIDENTIAL-REIT	米国	住宅(マンション等)	5.30%
3	AVALONBAY COMMUNITIES INC	米国	住宅(マンション等)	4.74%
4	WELLTOWER INC	米国	ヘルスケア	4.43%
5	PUBLIC STORAGE	米国	特化型	4.25%
6	SCENTRE GROUP	オーストラリア	小売(商業施設等)	3.48%
7	LINK REIT	香港	小売(商業施設等)	3.42%
8	VORNADO REALTY TRUST	米国	オフィス(ビル等)	3.41%
9	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	フランス	小売(商業施設等)	3.33%
10	BOSTON PROPERTIES INC	米国	オフィス(ビル等)	3.00%

※ 主要投資対象である「世界REITマザーファンド」について掲載しています。

※ 対純資産総額比です。

※ 「グローバル・リアルエステート・ファンド(適格機関投資家向け)の資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

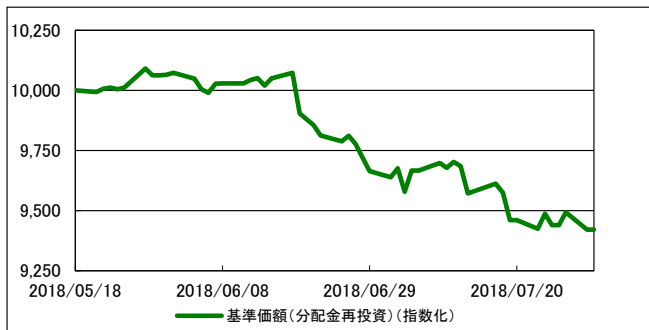
追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日

作成基準日 : 2018年7月31日

FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)の資産の状況

基準価額(指数化)の推移



期間別騰落率

	騰落率
1ヶ月	-2.52%
3ヶ月	-
6ヶ月	-
1年	-
3年	-
組入開始来	-5.79%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。

※ 上記グラフは、「FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)」の当ファンドへの組入開始日を10,000として指数化し、作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したのとして計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

為替ヘッジ比率

ヘッジ比率	100.02%
-------	---------

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄名	通貨名	比率
1	ISHARES GOLD TRUST-ETF	米国ドル	81.67%
2	SPDR GOLD TRUST-ETF	米国ドル	18.33%
3			
4			
5			

※ 主要投資対象としている「ゴールド・マザーファンド」の組入上位銘柄です。比率は対純資産総額比です。

※ 「FOFs用ゴールド・ファンド 為替ヘッジあり(適格機関投資家専用)の資産の状況」は、ちばぎんアセットマネジメントが日興アセットマネジメントからの情報提供に基づき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日
 作成基準日 : 2018年7月31日
 決算日 : 毎年3月20日

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
 したがって、**投資者の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様にご帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【リートの価格変動リスク】

リートの価格は、不動産市況(不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等)、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リートおよびリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【金上場投信の価格変動リスク】

金上場投信は、連動目標とする金地金価格の変動の影響を受けます。金市場は、金の需給関係、為替・金利の変動、政府の規制・介入、投機家の参入など様々な要因により変動します。金地金の価格が下落した場合、金上場投信の価格は下がり、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、投資対象ファンドにおいて、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【信用リスク】

有価証券等の発行体等が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日
 作成基準日 : 2018年7月31日
 決算日 : 毎年3月20日

お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
 (基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 購入・換金 … 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
- 申込受付不可日
- ・ニューヨーク証券取引所の休業日
 - ・ロンドン証券取引所の休業日
 - ・ニューヨークの銀行休業日
 - ・ロンドンの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止および取消し … 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取り消しを行うことがあります。
- 信託期間 … 無期限(2018年5月16日設定)
- 繰上償還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
- ・受益権の口数が30億口を下回るようになった場合
 - ・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
 - ・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎年3月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 … 年1回、毎決算時に分配の方針に基づき分配します。
 収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に**3.24%(税抜3.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して、**年率0.9072%(税抜0.8400%)**を乗じて得た額とします。

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して、**年率0.3329%程度(税抜0.3150%程度)**

■ 実質的な負担

純資産総額に対して、**年率1.2401%程度(税抜1.1550%程度)**

この値は目安であり、投資対象とする投資信託証券の実際の組入状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



分散名人

追加型投信／内外／資産複合

当初設定日 : 2018年5月16日
 作成基準日 : 2018年7月31日
 決算日 : 毎年3月20日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 ちばぎんアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第443号
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ : <http://www.chibagin-am.co.jp/>
 サポートダイヤル : 03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

販売会社

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。